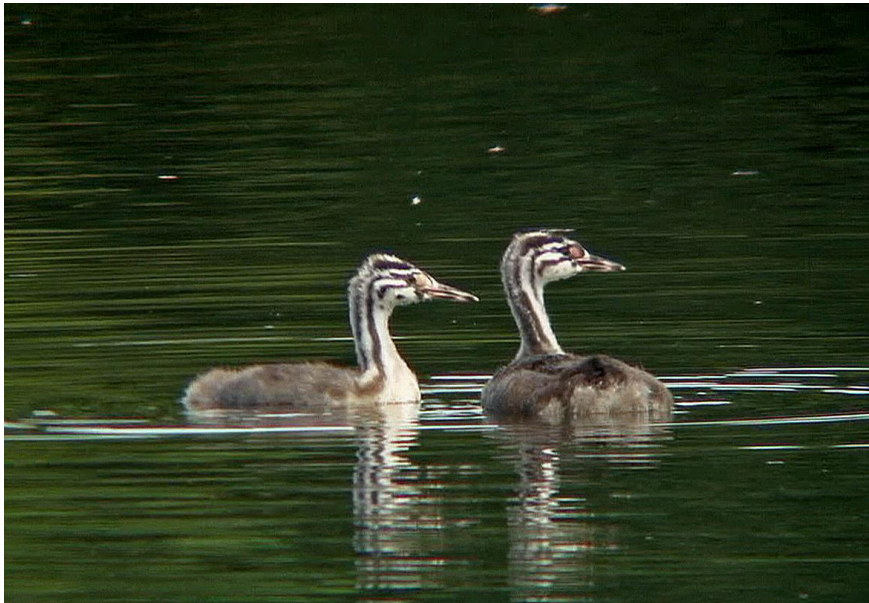


カンムリカイツブリ（カイツブリ科） 全長 56 センチ

横手市内には多数のため池が点在している。

美郷町に近い安本の堤は、県南で初めてカンムリカイツブリの繁殖が確認された場所です。県内では大瀧村だけで繁殖しているだけであったが、野鳥の会のS氏が横手市の堤で発見以来、徐々に繁殖地を拡大しているようだ。

8月22日、横手市櫛沢沼では数つがいのカンムリカイツブリが水面を揺らしていた。縞模様のヒナは、もう親鳥と同じくらいに育っています。



縞模様のヒナ。いつも親鳥を見つめています。

親の後を追いかけて泳いでいたが、突然親鳥が水中に潜ってしまった。

魚を探しているのか、暫く出てきません。遠く離れた場所で、魚をくわえて浮かび上がった。目ざとく見つけたヒナは、全速力で親の元へ駆け付けます。

最初に近づいたものだけが餌をもらえるので、ヒナは必死です。



水中から浮かび上がった親鳥に懸命に近づく。



早く近づいたものだけが餌をもらえます。

今度は別のファミリーを眺めてみた。

2羽のヒナは、何時も親の行動を見つめています。親鳥が魚をくわえて水中から現れると、一目散に親の元へ駆け寄ります。

しかし、親鳥は魚をくわえたままヒナに与えようとしません。首を上向きに伸ばしたまま、自分で飲み込んでしまいました。

呆然とするヒナたち。厳しい自然界で生き延びていくため、ヒナの独り立ちを促しているのでしょうか。ヒナにとっては試練の時期でもあるようです。



魚を見せびらかし、なかなかもらえません。



親鳥はおいしそうに自分で飲み込んだ。